

# 取扱説明書

## E C L E 兼用取替バリアフリーレバー錠

- この度は「ECL E 兼用取替バリアフリーレバー錠」をお買い求めいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

### 納入業者様へ

設置は納入業者様が行ってください。  
P.8『保証規定』に納入業者様名、ご購入日を記入する箇所がありますので、必ずご記入ください。  
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

### お客様へ

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



アルミレバータイプ



木製レバータイプ



ハイブリッドレバータイプ

### マークの種類について

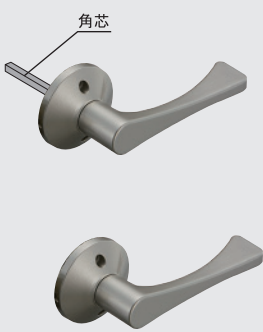
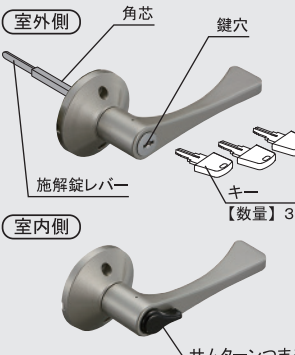


- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

### もくじ

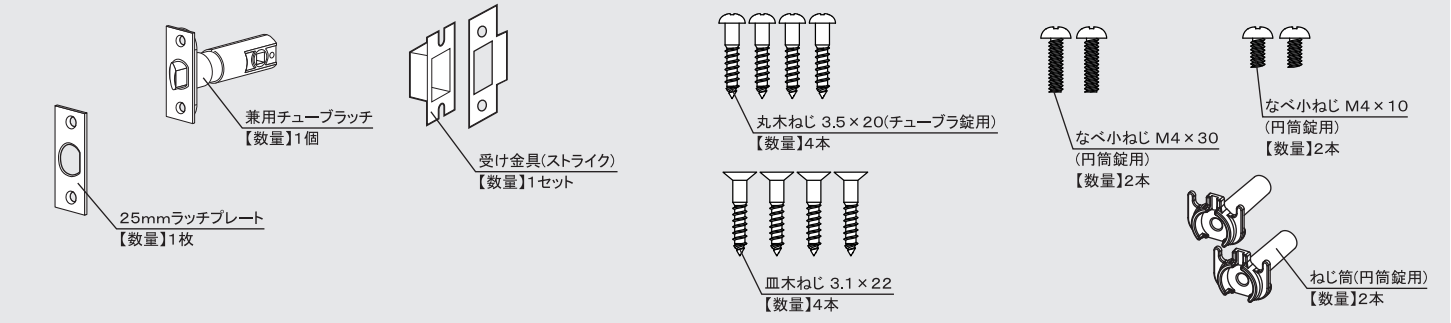
各部の名称	2
安全上のご注意	2
取付方法	
・取付前の準備・確認事項	3
・チューブラ錠からの取替	3-5
・円筒錠からの取替	5-6
施錠方法	7
お手入れ方法	7
点検と安全の為のお願い	7
故障かな?と思ったら	7
保証規定(保証書)	8
基本仕様	8

# 各部の名称

●取付け前に部品の不足がないかを確認する。

<p><b>空錠</b></p> <p>【数量】1セット</p>  <p>角芯</p> <p>※図はアルミレバータイプ</p>	<p><b>錠付間仕切錠</b></p> <p>【数量】1セット</p>  <p>室外側</p> <p>角芯</p> <p>鍵穴</p> <p>施解錠レバー</p> <p>キー</p> <p>【数量】3本</p> <p>室内側</p> <p>サムターンつまみ</p> <p>※図はアルミレバータイプ</p>	<p><b>トイレ錠</b></p> <p>【数量】1セット</p>  <p>室外側</p> <p>表示付 非常解錠装置付</p> <p>室内側</p> <p>※図はアルミレバータイプ</p>	<p><b>間仕切錠</b></p> <p>【数量】1セット</p>  <p>室外側</p> <p>非常解錠装置付</p> <p>室内側</p> <p>※図はアルミレバータイプ</p>
--	--	--	---

**共通部品**



兼用チューブラッチ 【数量】1個

25mmラッチプレート 【数量】1枚

受け金具(ストライク) 【数量】1セット

丸木ねじ 3.5×20(チューブラ錠用) 【数量】4本

皿木ねじ 3.1×22 【数量】4本

なべ小ねじ M4×30 (円筒錠用) 【数量】2本

なべ小ねじ M4×10 (円筒錠用) 【数量】2本

ねじ筒(円筒錠用) 【数量】2本

## 安全上のご注意

●取付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。



**注意** 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容

- 施錠状態でレバー・ハンドルの操作をしない。
- 扉を開けたまま、サムターンつまみを施錠状態にして扉を閉めない。  
錠付間仕切錠は施錠状態で扉が閉まると室外側からはキーがなければ解錠できない為、閉め出しの原因となる。キーは必ず室外側で保管する。
- 一般住宅室内専用の為、それ以外の場所で使用しない。
- 屋外・浴室・外部との出入り口の扉で使用しない。
- 鉄扉やアルミ扉など、木製扉以外には使用しない。
- 指定寸法以外の扉に取付けない。(P3. 取付前の準備・確認事項参照)
- 火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前で使用しない。金属部分が熱くなりやけどの原因となる。
- 高所からの落下など強い衝撃を与えない。
- ねじ等必要な部品を省かない。
- レバー・ハンドルにぶらさがったり、物をぶら下げない。
- 受け金具(ストライク)の穴に指を入れない。
- 鍵穴に油をささない。ほこりが付き動作不良の原因となる。
- 分解・改造は絶対にしない。
- 海外で使用しない。※本製品は日本国内専用
- 既設のチューブラッチは必ずはずし、付属の兼用チューブラッチに交換する。
- 既設のねじ穴とピッチが違う場合はキリで下穴をあける。
- 既設のねじ穴にずれや傷みがある場合や、既設のねじ穴が影響して木ねじがきかないまたは、すぐにはずれる場合は木片(割りばしなど)を削って埋木をしてからねじ止めをする。(P3. 取付前の準備・確認事項参照)
- 25mmラッチプレート、兼用チューブラッチのカドはとがっている為、注意して取付けを行う。
- マンション等の賃貸住宅に取付ける場合は必ず賃貸住宅の管理者に確認を取った上で取付けを行う。

# 取付方法

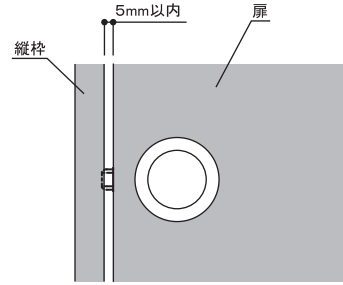
## 取付前の準備・確認事項

### ●施工に必要な工具類

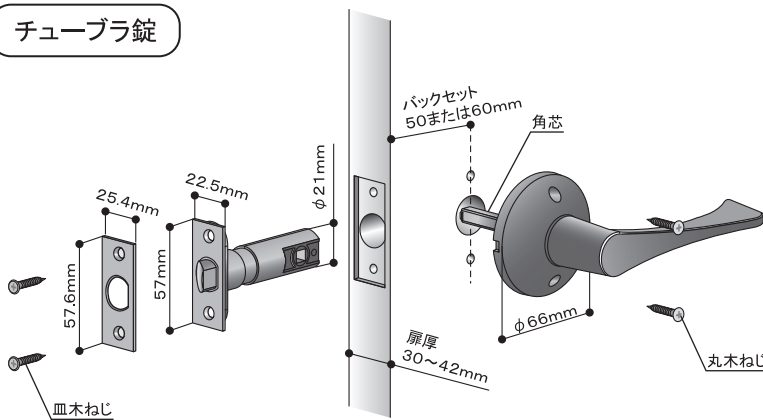


- 既設の握玉がチューブラ錠か円筒錠かを確認する。
- バックセットが50または60mmであること。
- 扉厚が30~42mmであること。
- 円筒錠の場合、切欠き穴がφ50~55mmであること。

### ●縦枠と扉のすき間は5mm以内であること。

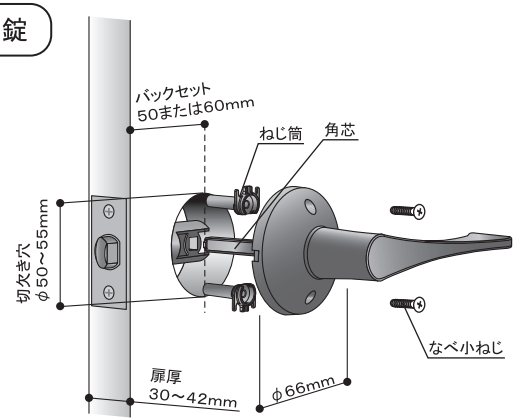


### チューブラ錠



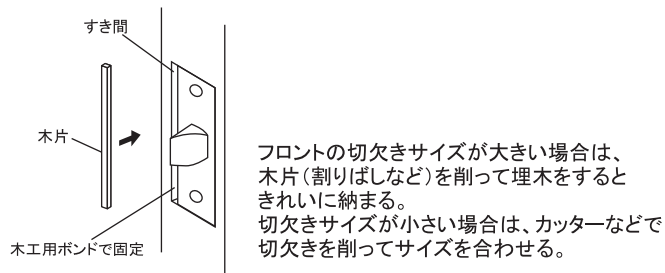
チューブラ錠からの取替は  
P. 3『チューブラ錠からの取替』へ

### 円筒錠

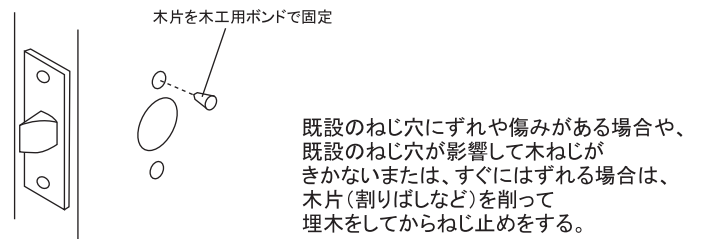


円筒錠からの取替は  
P. 5『円筒錠からの取替』へ

### ●フロントサイズの切欠きが合わない場合の対処方法。



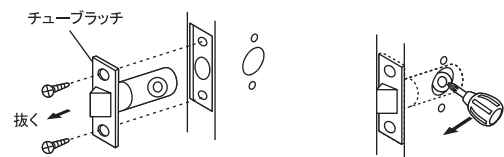
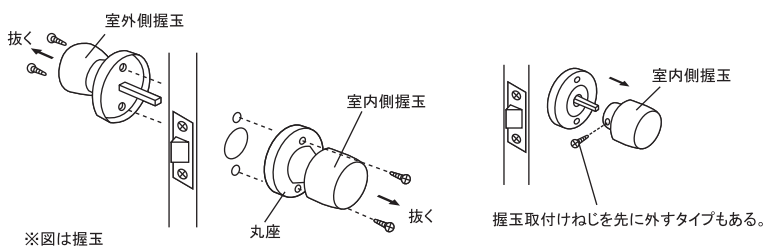
### ●既設のねじ穴にずれや傷みがないかを確認する。



## チューブラ錠からの取替

### 1. 既設の握玉およびチューブラッチをはずす。

- 1) 丸座のねじをゆるめて握玉またはレバーハンドルをはずす。
- 2) チューブラッチのねじをゆるめてチューブラッチをはずす。



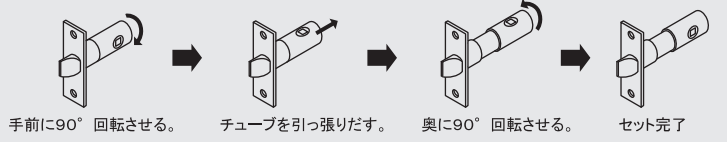
チューブラッチがはずれにくい場合は、ドライバー等をチューブラッチの穴に差し込み、矢印の方向に押してチューブラッチをはずす。

# チューブラ錠からの取替

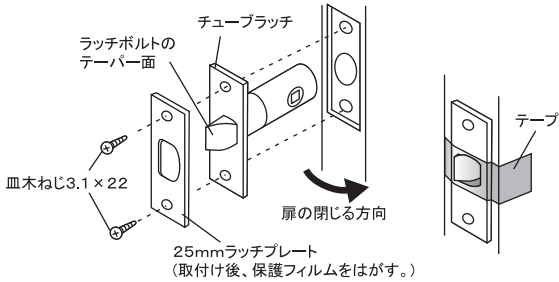
## 2. チューブラッチ・受け金具(ストライク)を取付ける。

- 1) バックセットが60mmの場合はチューブラッチを60mm用に調整する。  
※バックセットが50mmの場合は、そのまま使用する。

【チューブラッチ60mmへの調整方法】



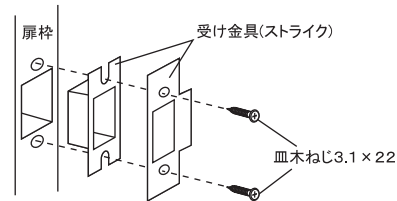
- 2) チューブラッチを取付ける。



- 閉め出しましたは、閉じ込め防止の為、作業中はラッチボルトをテープで押さえる。
- ラッチボルトのテーパ面と扉の閉じる方向を合わせて取付ける。

- 3) 受け金具(ストライク)を扉枠へ取付ける。

※受け金具(ストライク)は必ず取替る必要はない。

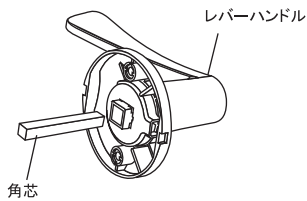


- ラッチボルトがおさまるように位置を合わせて受け金具(ストライク)を取付ける。

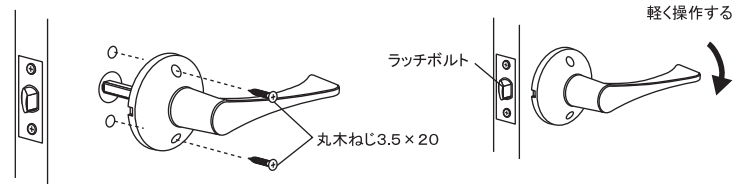
## 3. レバーハンドルを取付ける。

### チューブラ錠 空錠

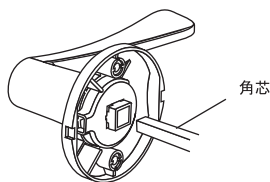
- 1) レバーハンドルに角芯を差込む。



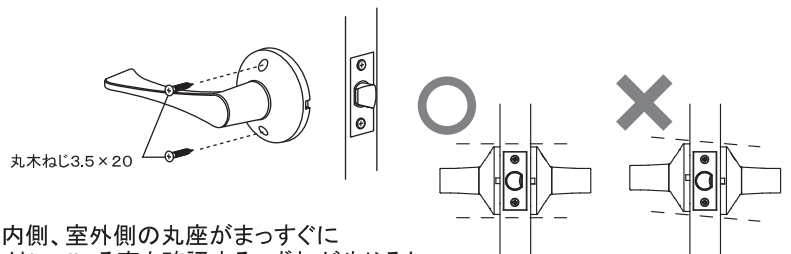
- 2) 角芯を差し込んだレバーハンドルを扉に取付け、軽く操作してラッチボルトが動く事を確認する。



- 3) 反対側のレバーハンドルを角芯に差込み、軽く操作してラッチボルトが動く事を確認する。



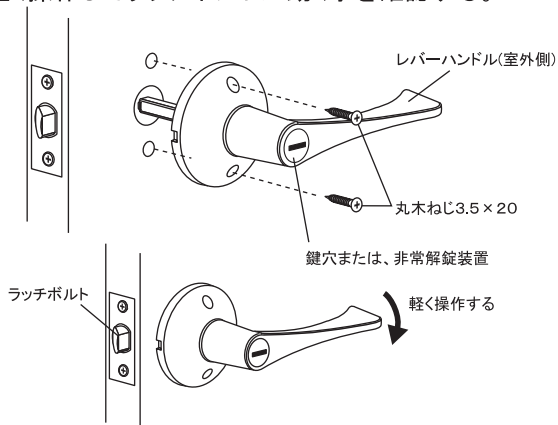
- 4) レバーハンドルを扉に取付ける。



- 室内側、室外側の丸座がまっすぐに取付いている事を確認する。ずれが生じるとレバーハンドルの作動連結部に負担がかかり破損の恐れがある。

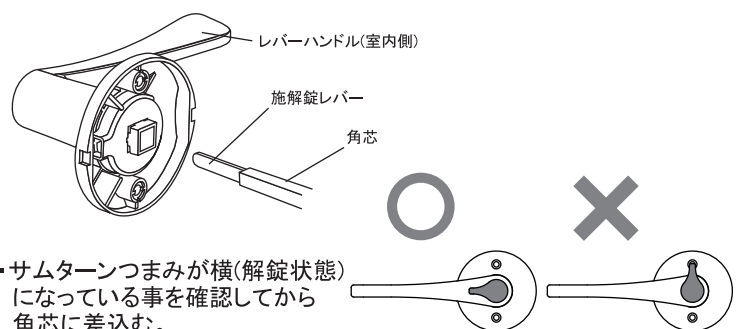
### チューブラ錠 鍵付間仕切錠・トイレ錠・間仕切錠

- 1) レバーハンドル(室外側)を扉に取付け、軽く操作してラッチボルトが動く事を確認する。



- 2) レバーハンドル(室内側)を角芯に差込み、軽く操作してラッチボルトが動く事を確認する。

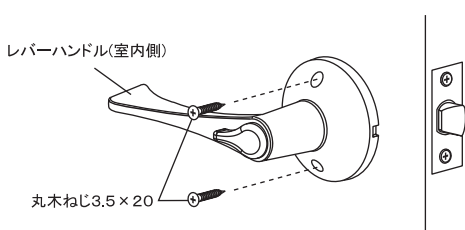
スムーズに奥まで入らない場合は施解錠レバーの位置や向きがずれている可能性がある為、施解錠レバーを回転させて再度差込む。



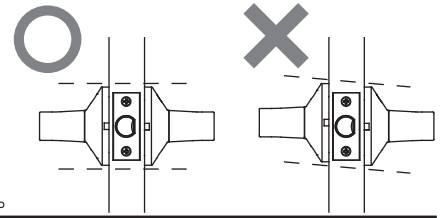
- サムターンつまみが横(解錠状態)になっている事を確認してから角芯に差込む。

## チューブラ錠からの取替

3) レバーハンドル(室内側)を扉に取付ける。



4) 解錠・施錠それぞれの状態で行い異常がないことを確認する。

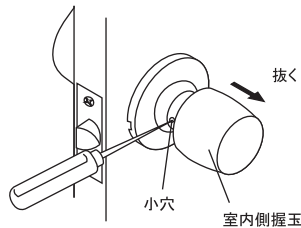


❗ 室内側、室外側の丸座がまっすぐに取付いている事を確認する。ずれが生じるとレバーハンドルの作動連結部に負担がかかり破損の恐れがある。

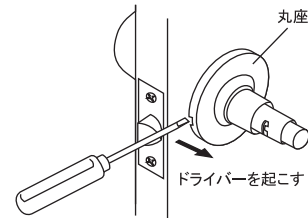
## 円筒錠からの取替

1. 既設の握玉およびチューブラッチをはずす。

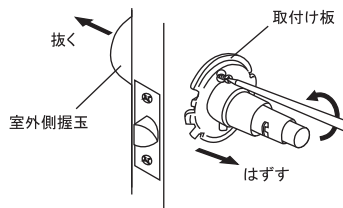
1) キリ等先のとがった工具で室内側握玉にある小穴奥の突起物を強く押しながら握玉をはずす。



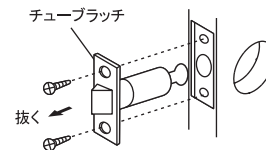
2) 丸座の切り込みに(-)ドライバーを差込み、丸座をはずす。



3) 上下2本のねじを(+)ドライバーでゆるめて、取付け板と室外側握玉をはずす。



4) チューブラッチのねじをゆるめてチューブラッチをはずす。

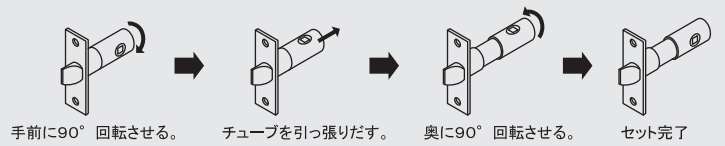


2. チューブラッチ・受け金具(ストライク)を取付ける。

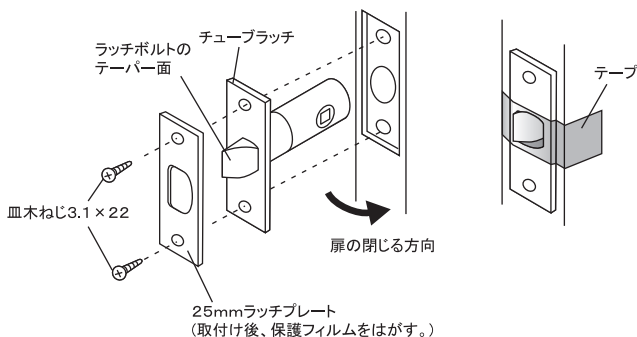
1) バックセットが60mmの場合はチューブラッチを60mm用に調整する。

※バックセットが50mmの場合は、そのまま使用する。

【チューブラッチ60mmへの調整方法】

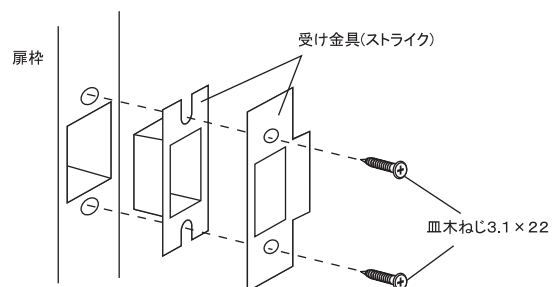


2) チューブラッチを取付ける。



3) 受け金具(ストライク)を扉枠へ取付ける。

※受け金具(ストライク)は必ず取替る必要はない。



❗ 閉め出しまたは、閉じ込め防止の為、作業中はラッチボルトをテープで押さえる。  
ラッチボルトのテーパ面と扉の閉じる方向を合わせて取付ける。

❗ ラッチボルトがおさまるように位置を合わせて受け金具(ストライク)を取付ける。

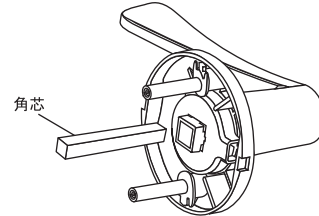
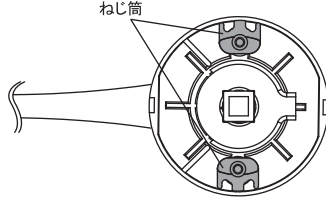
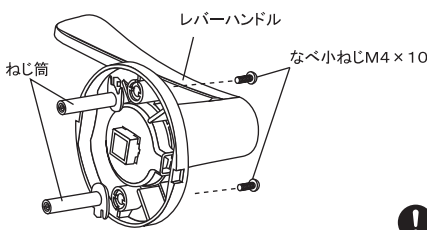
# 円筒錠からの取替

## 3. レバーハンドルを取付ける。

### 円筒錠 空錠

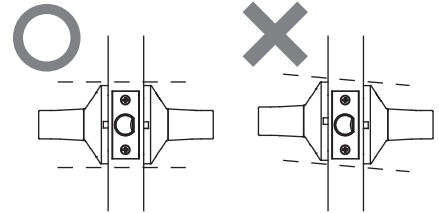
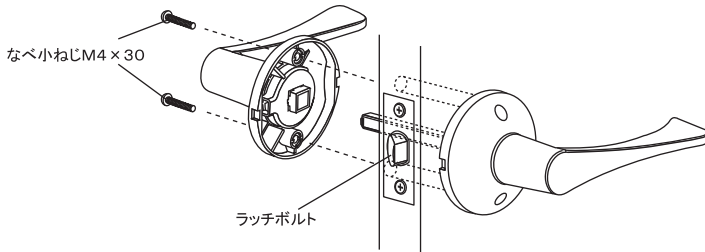
1) なべ小ねじM4×10で  
ねじ筒をレバーハンドルに固定する。

2) レバーハンドルに角芯を差込む。



❗ ・ねじ筒は必ず図の向きで固定する。

3) 反対側のレバーハンドルを角芯に差込み、  
軽く操作してラッチボルトが動く事を確認する。  
なべ小ねじM4×30でねじ筒にレバーハンドルを固定して扉に取付ける。



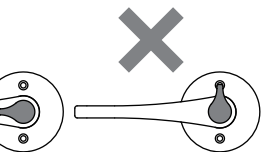
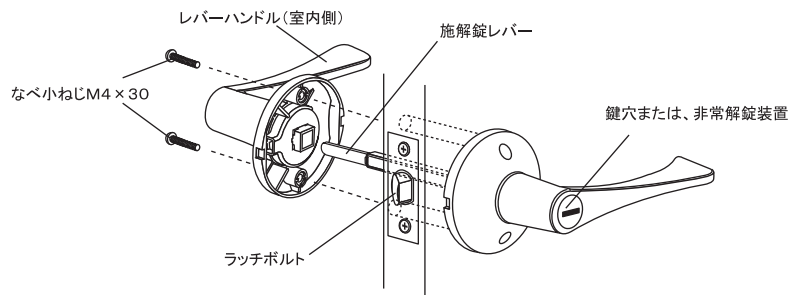
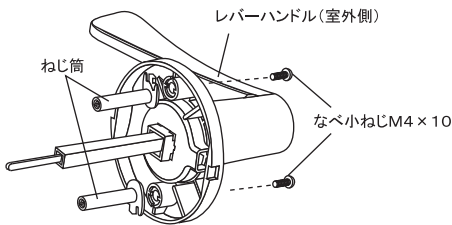
❗ ・室内側、室外側の丸座がまっすぐに取付いている事を確認する。  
ずれが生じるとレバーハンドルの作動連結部に負担がかかり破損の恐れがある。

### 円筒錠 鍵付間仕切錠・トイレ錠・間仕切錠

1) なべ小ねじM4×10で  
ねじ筒をレバーハンドル(室外側)に固定する。

2) 反対側のレバーハンドル(室内側)を角芯に差込み、  
軽く操作してラッチボルトが動く事を確認する。  
なべ小ねじM4×30でねじ筒にレバーハンドルを固定して扉に取付ける。

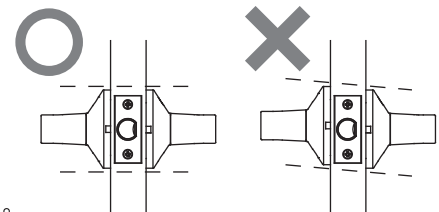
スムーズに奥まで入らない場合は施解錠レバーの位置や  
向きがずれている可能性がある為、施解錠レバーを回転させて再度差込む。



❗ ・ねじ筒は必ず図の向きで固定する。

❗ ・レバーハンドル(室内側)の  
サムターンつまみが横(解錠状態)に  
なっている事を確認してから  
角芯に差込む。

3) 解錠・施錠それぞれの状態で操作を行い  
異常がないことを確認する。



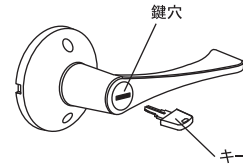
❗ ・室内側、室外側の丸座がまっすぐに取付いている事を確認する。  
ずれが生じるとレバーハンドルの作動連結部に負担がかかり破損の恐れがある。

# 施錠方法

## ●キーによる施錠方法(鍵付間仕切錠の場合)

1. キーを鍵穴に差し込み、反時計まわりに回す。
2. 施錠されている事を確認してキーを元の位置まで戻して鍵穴から抜く。

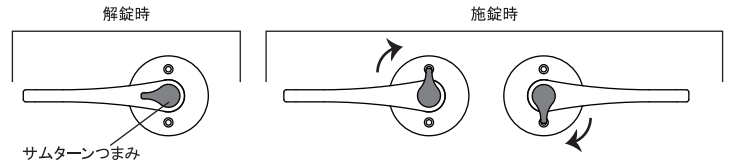
※施錠状態ではレバーハンドルは動かない。



## ●サムターンつまみによる施錠方法

1. サムターンつまみを横向きから縦向きに回し施錠する。

※レバーハンドルの向きによってサムターンつまみの回転方向が変わる。



- ⊘ 施錠状態でレバーハンドルの操作をしない。(レバーハンドル破損の原因となる。)

# お手入れ方法

## ●中性洗剤でのお手入れ

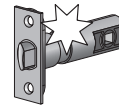
1. うすめた中性洗剤を含んだ柔らかい布で拭きとる。
2. 洗剤が残らないように水拭きする。
3. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

- ⊘ 酸性、アルカリ性洗剤やシンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しない。(変形変色の原因となる。)
- ⊘ クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。(傷の原因となる。)

# 点検と安全の為のお願い

- 定期的にねじのゆるみがないかを点検する。ゆるみがあった場合はねじを増し締めする。

- 定期的に兼用チューブラッチが破損していないかを確認する。兼用チューブラッチは消耗品の為、約10年を目安に新しいチューブラッチ(レバーハンドル)に取替える。



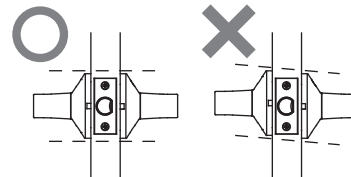
# 故障かな?と思ったら

- Q. レバーハンドルにガタつきがある。

- A. バックセットが50または60mmである事、扉厚が30~42mmである事を確認する。
- A. ねじにゆるみがある場合は増し締めする。

- Q. スムーズに動作しない。

- A. チューブラッチ、レバーハンドルの取付け位置がずれていない事を確認する。ずれている場合は取付けなおす。



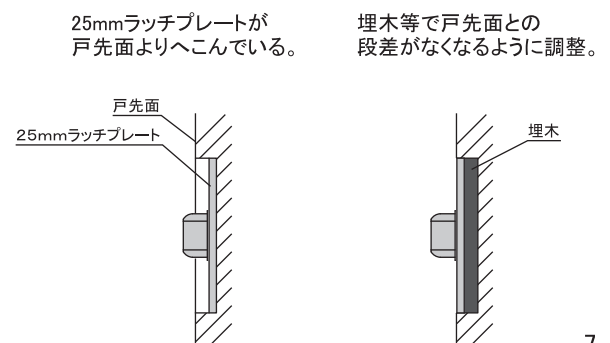
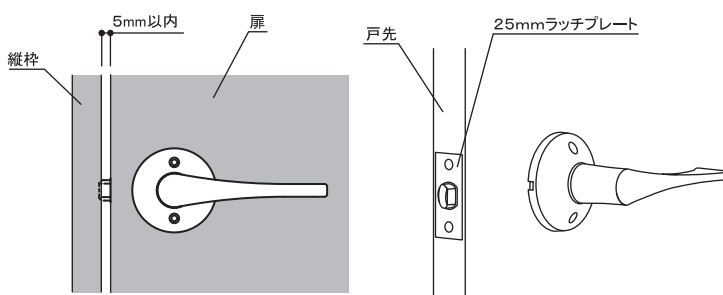
- Q. レバーハンドルが垂れたまま戻らない。

- A. 丸座の固定ねじを締め付けすぎてチューブラッチ本体を圧迫している可能性がある。ねじを半回転緩めて調整する。

- Q. 施錠状態で扉が開く。

- A. ラッチボルトが受け具(ストライク)に掛かっている事と縦枠と扉のすき間は5mm以内であることを確認する。5mm以上ある場合は5mm以内になるように扉を戸先側に調整する。

- A. 縦枠と扉のすき間が5mm以内でも扉が開く場合は、25mmラッチプレートが戸先面よりもへこんでいないか確認する。へこんでいる場合は戸先面との段差がなくなるよう、埋木等で調整する。



# 保証規定(保証書)

## ●保証期間:お買い上げ日より1年

この保証規定は、故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後1年以内であれば、無償修理または交換をお約束するものです。

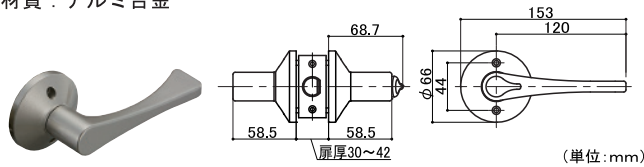
ただし下記の場合は、保証期間内においても有償修理となります。

- (1)本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの。
- (2)火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの。
- (3)お買い上げ後の落下、輸送による損傷。
- (4)使用による外観や本体外部の消耗および傷。
- (5)リサイクル業者や使用者などによる再販など、当社の責任範囲を超える場合など。
- (6)日本国外での使用。
- (7)当社もしくは当社の指定した修理事業者など以外による修理など。
- (8)本書の提示のない場合。
- (9)施工不備による損傷および不具合。
- (10)納入業者名、ご購入日を明記されていない場合。

納入業者名:	
ご購入日:	年            月            日

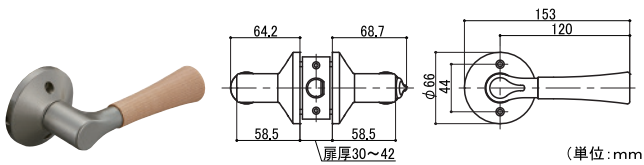
## 基本仕様

品名: E C L E兼用取替バリアフリーレバー錠  
アルミレバータイプ  
材質: アルミ合金



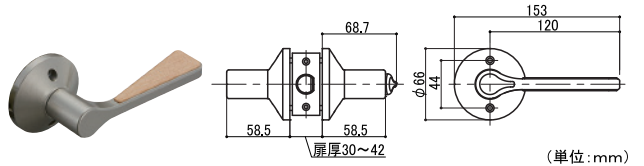
色	空錠	鍵付間仕切錠	トイレ錠	間仕切錠
Nシルバー	EL5060-1M-NS	EL5060-35M-NS	EL5060-4M-NS	EL5060-3M-NS
アンバー	EL5060-1M-U	EL5060-35M-U	EL5060-4M-U	EL5060-3M-U

品名: E C L E兼用取替バリアフリーレバー錠  
木製レバータイプ  
材質: アルミ合金・天然木



色	空錠	鍵付間仕切錠	トイレ錠	間仕切錠
Nシルバー/Nクリア	EL5060-1MW-NSNC	EL5060-35MW-NSNC	EL5060-4MW-NSNC	EL5060-3MW-NSNC
アンバー/Mブラウン	EL5060-1MW-UMB	EL5060-35MW-UMB	EL5060-4MW-UMB	EL5060-3MW-UMB

品名: E C L E兼用取替バリアフリーレバー錠  
ハイブリッドレバータイプ  
材質: アルミ合金・天然木



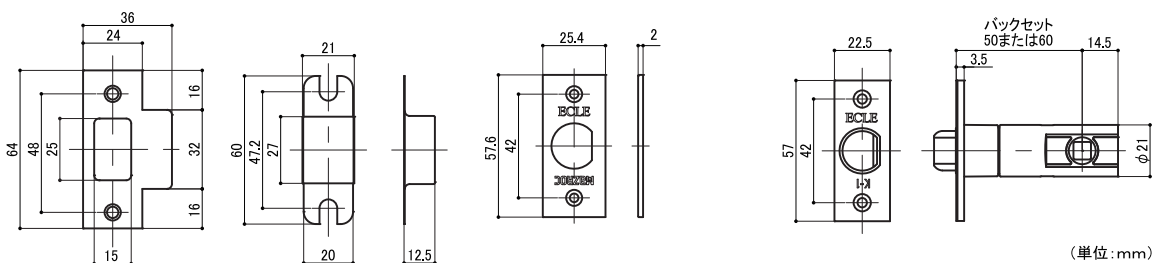
色	空錠	鍵付間仕切錠	トイレ錠	間仕切錠
Nシルバー/Nクリア	EL5060-1MH-NSNC	EL5060-35MH-NSNC	EL5060-4MH-NSNC	EL5060-3MH-NSNC
アンバー/Mブラウン	EL5060-1MH-UMB	EL5060-35MH-UMB	EL5060-4MH-UMB	EL5060-3MH-UMB

### 【共通部材】

品名: 受け金具(ストライク)  
材質: ステンレス・鉄

品名: 25mmラッチプレート  
材質: ステンレス

品名: 兼用チューブラッチ  
材質: 亜鉛合金・ステンレス・樹脂



**マツ六株式会社**  
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号  
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248  
<https://www.mazroc.co.jp/>

2022年7月1日改定